

池田桃川 （1876-1956） 小説家。明治二十二年熊本縣生れ、昭和十年五月十
一日歿（八八九―九三五）。本名信雄。度々支那に渡り、彼地を題材とし
小説等も發表。

著書 『支那宮廷秘録―煬帝と玄宗』（大正十一年五月九日上海・支那
香艷叢書刊行會「支那香艷叢書」）、『吳越前施全傳』（大正十一年
六月二十五日上海・支那香艷叢書刊行會「支那香艷叢書」）、『續上
海百話』（大正十一年十一月五日上海・白本堂）、『西太后』全一冊
（前編・大正十一年五月十八日、後編・七月二十五日上海・支那香艷
叢書刊行會「支那香艷叢書」）、創作『支那革命』（大正十二年六月
十九日上海・白本堂書店）、『血心く花』（昭和二年八月二十日上海
・白本堂書店）、『江南の名勝史蹟』（昭和二年七月二十八日上海・
白本堂書店）、隨筆『支那叢話』（合著・入澤達生編、昭和八年八月
十八日大畑書店）等。

